

社会福祉法人優和会役員及び評議員の報酬等に関する規程

(定義等)

第1条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 役員とは、理事及び監事をいう。

(2) 報酬等とは、社会福祉法第45条の34第1項第3号に定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。

(3) 費用とは、職務遂行に伴い発生する旅費（交通費、宿泊費を含む。）及び手数料等の経費であって、報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第2条 役員及び評議員等の報酬は、無報酬とする。

(1) 前項の規定にかかわらず、施設長として勤務する常勤理事に対しては、法人の就業規則及び、「職員給与規程」に準じて給与等を支払うことができる。

(常勤理事の給与等)

第3条 常勤理事の給与は年6,000,000円を超えないものとする。

(1) 常勤理事の退職手当は、別に定める職員を対象とする「職員給与規程」に準ずる。

(2) 常勤理事の通勤手当は、別に定める職員を対象とする「職員給与規程」に準ずる。

(会議出席者への日当)

第4条 第1条の規定にかかわらず、理事会又は評議員会に出席した理事、監事、評議員に対しては、常勤理事を除き、日当として一日あたり5,000円を支払うことができる。

(公表)

第5条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行う。

附 則

この規程は平成29年6月3日(評議員会の議決日)から施行し、平成29年4月1日から適用する。